

J C の資格化に向けた課題の整理

- J Cに係る資格を創設する前提として、その必要性やJ C支援の特性（独自の強み、専門性等）、他の資格の専門性等との関係について整理してはどうか。また、資格化には、どのような課題があり、それを解決するためにはどのような対応が必要となるか。
- それらの課題への具体的な対応を踏まえ、資格としての位置付けるためのロードマップの設定を行う必要がある。

〔 J Cに係る資格創設の必要性等 〕

- 障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会における意見は下記のとおりである。
 - ・ 専門性を明確化し、就労支援に携わる専門人材の社会的・経済的地位の向上させることで人材の確保がしやすくなるものと考えられるが、そのためにはジョブコーチを認定資格や国家資格等の「資格」として位置づけることで可能となると考えられる。
 - ・ J Cの公的資格への位置づけについて、地域の就労支援体制の強化という視点も含めて検討してはどうか。
 - ・ J Cの就労支援スキルは、一般就労の実現と質の向上に重要な役割を果たすため、その資格化の実現が期待される。
- 資格化の必要性や資格化に向けた課題について、本作業部会における議論を踏まえ、次の観点から整理してはどうか。
 - ・ J C支援の活性化、J Cの裾野拡大（J C養成研修修了者の育成・確保のための受講機会の確保、助成金活用支援の増加等）
 - ・ ネットワークと市場の形成（連絡会議を活用したネットワーク形成、J C支援を必要とする企業・障害者へJ Cをつなぐ仕組み等）
 - ・ 各養成研修実施機関やJ C所属法人等の連携・連帯

※ 職場適応援助者養成研修の受講申し込み状況（令和4年度／J E E D、大臣指定機関合計）

訪問型			企業型		
申込者	受講者	倍率	申込者	受講者	倍率
1,379	562	2.5	1,371	718	1.9

注：申し込みを行った者のうち、本人都合により受講をしなかったものも含まれていること。